



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.3
事例1

調剤

用量の入力間違い



事例

【事例の詳細】

70歳代の患者にデキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」1回4mg 1日1回 3日分が処方された。処方箋を応需した薬局のスタッフは、デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」の1回量4mgを4mLと誤認してレセプトコンピュータに入力した。調製を担当した薬剤師が入力間違いに気付き、1回量を40mLへ訂正した。

【背景・要因】

デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」の用量がmg(分量)で処方された場合、レセプトコンピュータにはmL(製剂量)に換算して入力する必要があった。しかし、薬局のスタッフは単位の違いに気付かず、誤った用量をレセプトコンピュータに入力した。

【薬局から報告された改善策】

レセプトコンピュータに用量を入力する際には、処方箋に記載されている単位とレセプトコンピュータに入力する単位を確かめるよう、スタッフに周知した。再発防止のために、単位の誤認により用量の入力間違いが起きやすい薬剤をリストにして薬局内で共有した。



その他の情報

デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」の添付文書 2024年1月改訂(第1版)(一部抜粋)

3.組成・性状

3.1 組成

有効成分 1mL中 日本薬局方デキサメタゾン0.1mg

6.用法及び用量

デキサメタゾンとして、通常成人1日0.5~8mgを1~4回に分割経口投与する。小児には1日0.15~4mgを1~4回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。



事例のポイント

- 本事例は、デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」がmg(分量)で処方された際に、mL(製剂量)で処方されたと誤認し、レセプトコンピュータに誤った用量を入力した事例である。
- デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」の薬価単位はmLであるが、添付文書では、用量がmg(分量)で記載されている。そのため、薬剤師は、デキサメタゾンエリキシル0.01%「日新」がmg(分量)で処方される可能性があることに留意して、調剤を行う必要がある。
- レセプトコンピュータへの処方入力は、薬剤師以外のスタッフが行うことがある。入力前に薬剤師が処方監査を行い、入力時に注意すべき点について申し送りを行うことや、レセプトコンピュータに入力した処方内容を処方箋と突合する際に用量の単位を確認するよう手順を定めておくことは、入力間違いを防止するために重要である。
- 本事業には、デキサメタゾンエリキシル製剤以外にも、インクレミンシロップ5%、ザイザルシロップ0.05%、ペリアクチンシロップ0.04%などで、単位の誤認により用量の入力間違いが起きた事例が報告されている。単位の誤認による用量の入力間違いが起きやすい薬剤をリストにして薬局内で共有することも有用である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.3
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

同成分の重複



事例

【事例の詳細】

40歳代の患者にフスコデ配合錠とセレスタミン配合錠が同時に処方された。フスコデ配合錠にはクロルフェニラミンマレイン酸塩、セレスタミン配合錠には*d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩が配合されているため、薬剤師は、有効成分が重複していることについて処方医に疑義照会を行った。フスコデ配合錠からメジコン錠15mgへの変更を提案したところ、了承された。

【推定される要因】

処方医は、処方した2つの配合錠に同じ成分が含まれていることを失念した可能性がある。

【薬局での取り組み】

同成分や同薬効の重複があった際には疑義照会を行う。



その他の情報

販売名	フスコデ配合錠	セレスタミン配合錠
有効成分	日局 ジヒドロコデインリン酸塩	日局 ベタメタゾン
	日局 <i>d</i> -メチルエフェドリン塩酸塩	
	日局 クロルフェニラミンマレイン酸塩 [※]	日局 <i>d</i> -クロルフェニラミンマレイン酸塩

※日局 クロルフェニラミンマレイン酸塩は、*d*体と*l*体が50%ずつのラセミ体である。
(2025年3月7日現在)



事例のポイント

- 配合剤が処方された際は、それぞれの有効成分や薬効が併用する薬剤と重複していないか確認する必要がある。
- 日局 クロルフェニラミンマレイン酸塩（ラセミ体）および日局 *d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩が重複して処方された際は、疑義照会を行って処方医に併用する要否を確認し、過量服用による副作用発現を回避することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.3
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

副作用の発現（歯肉肥厚）



事例

【事例の詳細】

アムロジピン錠5mg「トーワ」を服用中の患者が、歯科医師から歯肉肥厚と診断され、降圧剤が原因である可能性を指摘された。患者は、歯科で治療を行ったが、歯肉肥厚が改善しないため電話で薬局に相談した。アムロジピン錠の添付文書には、「その他の副作用」に歯肉肥厚の記載がある。発現頻度は0.1%未満であるが、症状が継続しているため副作用の可能性を考慮して処方医にトレーシングレポートを提出した。その後、アムロジピン錠5mg「トーワ」からオルメサルタンOD錠20mg「トーワ」に変更となった。

【推定される要因】

未記載

【薬局での取り組み】

処方医に患者の情報を提供した後は、関連する薬剤の処方状況を確認し、患者から症状の経過を随時聴取する。



その他の情報

アムロジピン錠2.5mg/5mg/10mg/OD錠2.5mg/5mg/10mg「トーワ」の添付文書 2024年10月改訂(第3版)（一部抜粋）

11.副作用

11.2 その他の副作用

	0.1%未満
口腔	(連用により) 歯肉肥厚



事例のポイント

- 本事例は、薬剤の副作用で歯肉肥厚が発症している可能性を歯科医師に指摘された患者から相談を受けた薬剤師が、患者が服用しているカルシウム拮抗薬の副作用を疑い処方医に情報提供した結果、薬剤が変更になった事例である。
- 薬剤による歯肉肥厚は、カルシウム拮抗薬のほか、フェニトインなどの抗てんかん薬やシクロスポリンなどの免疫抑制薬でも起こることがある。
- 発現頻度の低い副作用であっても、患者から聴取した情報から副作用の可能性が疑われる場合は、電話やトレーシングレポートなどを用いて処方医に情報提供を行うことが、安全で適切な薬物治療のために必要である。
- 歯垢や歯石など口腔内の衛生状態の悪化は、歯肉肥厚の増悪因子となり、歯肉肥厚が疑われる場合には、ブラッシングや歯石除去などの口腔衛生管理が必要である。薬剤師は歯肉肥厚の原因と思われる薬剤を変更した後も、歯科医師と連携し患者の症状の経過などに関する情報を共有することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。